



# まめながの

発行  
西郷町城北町  
隠岐病院長



## しゃくなげの里から



## まめながの

本年四月より、当院内科医長の増野先生が、五箇村国保診療所へ派遣されました。二カ月が過ぎ、雰囲気にも慣れた診察室より、今後の抱負について述べていただきました。



診療所のスタッフと・・・

この度、島後町村組合から島後地区の医療ブロック連携のため五箇村診療所勤務を命じられ、四月一日より勤務しております。隠岐病院より車で十五分と近隣の診療所であり、隠岐病院での経験を生かし、病院との連携を利用して、五箇村の住民の皆さんに貢献する絶好の機会を与えていただいたと非常に喜んでおります。

隠岐病院が経営改善のため、色々な取り組みを始めたところでしたので、私も、隠岐の医療が良くなる方法がないかと考えはじめていたところでした。今度は診療所という違った観点から、隠岐病院勤務では十分に目の届かなかった、

医療・福祉・保健の連携と、それらと日常生活との結びつきについて取り組みたいと模索しております。

CT・透視・大腸内

視鏡等々：設備面、また、眼科・整形外科など専門面では、病院へ依頼させていただくことも少なからずあります。しかし、診療所のスタッフ数は医師含め7名と病院よりは小さいですが、血液検査・レントゲン写真・胃内視鏡・超音波（胸腹部）・心電図など、できる検査もかなりあります。五箇村の住民の皆さんに「隠岐病院に負けない医療」を受けていただけるよう微力ながら精一杯努力する所存でございます。

最後になりましたが、毎週火曜日午前中には隠岐病院神経内科の小出先生に郡診療所の診察を、木曜日午後には内科の原先生に久見診療所の診察をしていただき、その間は、隠岐病院での検査を担当させていただきます。

診療所の診療の幅が拡大するものと感謝すると共に喜んでいくところです。



増野 純二

### 異動

#### 新規採用

\*白川 浩希 (泌尿器科)

#### 派遣

\*増野 純二 (五箇診療所へ)

\*佐藤 勝 (都万診療所へ)

\*安野 広三 (都万診療所へ)

#### 退職

\*山代 昇 (院長)

\*高間総一郎 (泌尿器科)

\*西 典子 (看護婦)

### 車イスでも楽々！

先日、NIT隠岐支店のご好意により、病院構内に島内では初の最新型公衆電話ボックスを設置していただきました。この電話ボックスには、「自動ドア」が装備され、車イスの方にも気軽に利用できるような、とても優しいつくりになっております。皆さんお気軽にご利用ください。



# 隠岐病院離任の

ごあいさつ

山代 昇

縁あって、平成四年四月からの五年間、隠岐病院に勤務させていただきました。ただき有り難く思っています。隠岐は、海も山も美しく、四季折々には島独特の花も咲き、人情も厚く、素晴らしい所でした。そういう島で暮らせる皆様は幸せです。今迄の人生で一番楽しい時を過ごさせていただいたことに感謝しています。

引越しの荷物を整理していたら、「院長就任のご挨拶」と題した広報「島後」の投稿記事ができて懐かしく思いました。それには次のように書いてありました。

- ① 病院の検診体制を充実する。
- ② 医師の確保に努める。
- ③ 眼科医師の常勤化を図り、本土まで行かずに眼科の治療が受けられるようにする。
- ④ 脳外科疾患・循環器疾患で当院で対応できない救急患者の本土への搬送システムを確立する。

隠岐を去るにあたって振り返ってみますと、

① に関しては、本年四月から当院の人間ドック機能を充実し、今以上に利用してもらえよう決定しています。

② に関しては、五年前には常勤医は私を含めて十名でしたが、現在は十八名になり、診療体制も充実しました。

③ に関しては、本年四月から鳥取大学医学部より、眼科医師に赴任していただき、近いうちには白内障などの手術が可能になりうる予定です。

④ に関しては、この四月から本土への救急患者さんの搬送には、本土側医師同乗によるドクターヘリコプター制度が施行されています。このことにより、隠岐病院の医師は負担が軽減され、当院での診療に専念できるようになりました。五年前に思った事がほぼ叶えられたのは、島後町村組合管理者(西郷町長) および議会・県当局・県立中央病院・島根医科大学・松江赤十字病院・鳥取大学医学部等のご尽力によるものです。



本年四月から、県も参画した隠岐保健・医療・福祉提供体制整備

推進協議会(推進協)が発足しました。その協議会で、隠岐病院を隠岐圏域の中核病院とし、施設の整備および職員の確保を図る。また、隠岐の公的医療機関を一元化し、隠岐四島間での保健・医療・福祉の格差の解消に努めることも決定されました。すでに島後では、当院と布施村・五箇村・都万村の各診療所と医師派遣ブロック制度を実施しています。この制度は、現在のところ十分に機能を発揮していませんが、将来は住民の皆様にご喜んでいたけるようになるものと考えています。

数年前から、当院の看護職員の確保が困難になっています。私は、昨年六月に行われた「隠岐島高齢者を考える会」の討論会でも述べましたが、今後の隠岐の保健・医療・福祉を充実させるためには、看護・福祉系大学を島に開設する事が望まれます。隠岐育ちの若い人が島で学び、風光明媚なこの地に本土からも来ていただき、卒業したら島で働いてもらったら、人口減の歯止めにもなります。そして、当院が実習病院となれば隠岐の医療水準も格段と向上します。

住民の皆様と病院が一層の信頼関係を保つためには、医師が定着して診療にあたり、もっと隠岐出身の医師に島に帰っていただくことが大切だと思います。

二年前から当院では、経営安定化のための事業を発足させています。それによって今年度からいろいろな事業が行われます。

外来待ち時間の短縮を図る・外来受診の一部を電話予約制・病院広報誌「まめなかの」発刊・人間ドック機能の充実・適時適温配膳等々、職員一同も患者さんへのサービス向上のため、夜遅くまでいろいろと検討・討議を行っています。

隠岐病院が良い病院となるよう皆様方もお気づきの点は、病院内においてあります。「ご意見箱」等を利用していただいたらと思います。

島民の、島民による、島民のための病院となるようお願いいたします。

ありがとうございます。



□□□□□□□□□□□□□□□□

山代前院長の辞職は年度の途中の出来事であり、後任人事は直ちには決定し難く、現在のところ新院長はまだ決定しておりません。新院長就任までの間暫く、宮崎副院長が院長代行を務めます。

# この人知って

## る



病院の内外で活躍している「スタッフ」を紹介するコーナーです。

第一回目は、当院以外ではあまり見かけない「看護師」のある人を見てみましょう…。

が当院に入職した当時も、一緒に働くことになった看護師さん方は、何か違和感があったようです。

（初物は、食わず嫌いがある？）

しかし今では、医療・福祉に関するマンパワーの需要が高まり、テレビなどでも盛んに報道されるようになり、「看護師」という職業も市民権を得たように思います。

さて、仕事の内容はどうかと、従来の看護師さんと全く変わりませんが、ここで書きませんが、

ここで、隠岐病院に入ってからさせていだいた、貴重な体験を一つ二つ…。

一つは、阪神淡路大震災の時に医療ボランティアとして他二名の看護師と共に復興支援に出向きました。電気もガスも水さえも止まり、瓦礫と埃そして失意の中でも

明日を見つめ、明るく振る舞っている方々に会い、人間の小ささ・もろさと同時に、強さ・生きている事の素晴らしさを感じました。

そして、人が人を助ける「ボランティア」の素晴らしさも…。

もう一つ、これもボランティア関連ですが、先日、骨髄提供という滅多にない体験をしました。これは、重い血液病の患者さんに、

自分の健康な骨髄を移植するものです。これは、「骨髄バンク」を通して行います。病院玄關脇のポスターや、薬局前のリーフレット

を見た方もいらっしゃるでしょう。私の場合、体格が同じくらいの方だったそうで、（システム上、住所・氏名などはわかりません）

八〇〇ml強の骨髄液を、腰の骨から取りました。全身麻酔で行う為ドナー（提供する側）の負担も大きいのですが、うまくいけば一人の名も知れない人の命が救われるのです。ですから、「命のボランティア」とも言われています。

採取が終わって麻酔から醒めるとき、腰の痛みを感じながらも、満足感のような、不思議な感じがしたのを覚えています。オシッコの管を入れられて痛かったのも覚えていますが、時には患者さんの身になってみないと…。

患者さんが骨髄移植を待っている姿を描いたビデオもあります。

それから、私は隠岐で一人しかいない「救急救命士」でもありません。まだその免許は使ったことがありませんが…。

これを目にして息子さんがあるお父さんお母さん、あるいは男子学生諸氏、こういう職業を選択肢に加えてみてはいかがですか？

骨髄バンクの事、救急法の事、看護の事、介護の事、恋愛の事？何でもご相談下さい。こちらから出向くこともいたします。

ホラ！目の前をウロウロしている、白衣を着てるけど先生じゃない、色黒の男性です。

ホラ！目の前をウロウロしている、白衣を着てるけど先生じゃない、色黒の男性です。



五月二十三日、一階エレベーター前において、患者さんのリハビリを兼ねて作った、不用になった広告紙を利用した籠などのバザーを開催したところ、「広報誌まめなかの」をご覧になった方、診察を待っている方、職員などで周囲は大混乱！とても賑わいました。売り子には4Fレクリエーション担当の美人？看護婦を中心に、入院中の患者さん・病棟スタッフ・総婦長の協力でアツ！という間に完売し、私達も喜んでいきます。ご協力ありがとうございました。

中には、「次回も楽しみに待っています」と声をかけてくださる方もおられ、早速次の作品づくりに

## バザー 大盛況!

頑張っています。次はいつになるのかわかりませんが、楽しみにお待ちしております。

4Fスタッフ・患者一同



## 意見箱コーナー

今年も職員組合の青年部の皆さんの手により、病院構内に「こいのぼり」があげられました。つい先日、意見箱の中に、患者さんより次のような歌が寄せられましたのでご紹介いたします。

見あぐれば緋鯉真鯉の泳ぐさま  
吾れひとときの杖を忘るる  
はねまわる影を落として鯉のぼり  
五月の空を彩り泳ぐ

病院青年部の皆様の御配慮に感謝して、つたない歌をよみました。ありがとうございました。(一人の患者より)



## 看護婦募集

### 全国規模で!

碧い海、青い空、自然と歴史の島『隠岐』で地域医療に従事しませんか

**看護婦(士) 募集**  
保健婦 助産婦

- 診療科/内科、外科、整形外科、小児科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、眼科、耳鼻科、精神科、神経内科、歯科
- 病床数/154床
- 募集職種・年齢/看護婦(士)、保健婦、助産婦。35歳位まで。
- 待遇/給料・当組合給与条例による(経験年数100パーセント加算)、賞与・年3回(年間5.2カ月)、その他各種手当
- 身分/地方公務員
- 勤務時間/日勤 8:30~17:15  
準夜16:30~1:15  
深夜00:00~8:45(週休2日制)
- 休日・休暇/年休(年20日以上)、夏期休暇、年末年始休暇
- 宿舎/平成9年度建築予定。

詳細は、電話にてお問い合わせ下さい。(担当/総婦長まで)

## 島後町村組合立 隠岐病院

島根県隠岐郡西郷町大字城北町355番地

島後町村組合立隠岐病院 TEL.08512-2-1356

隠岐の情報: <http://www.miracle-wave.or.jp/oki/>

高齢化が進み、介護を必要とする人が増え続ける今、他施設においても同様と思われませんが、我が隠岐病院においても慢性的な看護婦不足が深刻な問題になっております。

島内ではもちろんのこと、毎年募集を行っても、十分な補充が得られないのが現状です。そこで、大々的に隠岐島内・島根県内に限らず、日本全国に向けて募集することになりました。「エキスパートナース」という看護雑誌の六月号に掲載したところ、県外の方より早くも問い合わせがきています。少しでも多くの人の目に触れ、一緒に働いてくれる仲間が増えることを期待しています。

## あとながき

高齢化社会。人生八十年。最近では、「親孝行したくないのに親はいる」と言うそうです。先日母が、癌の為六十二歳で隠岐病院で亡くなりました。「隠岐病院の看護婦はやさしくない」とか聞きますが、決してそんな事はないと思います。母は、手厚い看護に感謝しながら、眠るように息をひきとりました。

「親孝行したい時には親はなし」私の最大の親孝行を一カ月後に控えていた時でした。

結婚が延びたS